

令和7年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
論理国語	普通科2年（S・A共通）	2	

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 論理国語（大修館） <input type="checkbox"/> 論理国語 学習ノート（大修館） <input type="checkbox"/> 問題集 <input type="checkbox"/> 現代文単語帳
-------------	---

科目の目標		
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
実社会に必要な国語の知識や技能をICTや辞書、補助教材を用いて身に付けるようにする。	協働的かつ対話的な活動をとおして、論理的・批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
30%	50%	20%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>B 評価の規準</p> <p>[知識・技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文や文章を効果的に組み立てたり接続したりするしかたについて理解できている。 ・筆者の主張とその前提や反証などについて理解できている。 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができている。 	<p>B 評価の規準</p> <p>[思考・判断・表現]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえることができている。 ・多面的、多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にすることができている。 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながらか要旨を把握することができている。 ・文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな視点から自分の考えを深めることができている。 	<p>B 評価の規準</p> <p>[主体的に学習に取り組む態度]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで筆者の主張とその根拠や論拠をとらえようとするとともに、内容に関して自らの考えをもち伝えようとしている。 ・学習課題に沿って、本文の内容や表現に注意しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。 ・従来の物事のとらえ方や考え方を改めて見つめ直すことに興味・関心をもとうとしている。 <p>※ [主体的に学習に取り組む態度] は、課題（提出状況及び取組内容）、言語活動時の自己評価等で評価します。</p>
<p>※ [知識・技能] と [思考・判断・表現] は、定期考査及び単元ごとの小テスト、授業中の課題等で評価します。</p>		
<p>特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。</p>		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	世界を広げる「批評」の言葉	4	語彙、表現
5			筆者の意見や根拠の読解

6	ミロのヴィーナス	6	語彙、表現（比喩）
			芸術論について
			資料との比較
7	コミュニティから見た日本	5	語彙、表現
			資料と関連づけた読解
			論の展開（対比）
8	科学は生きている	7	語彙、表現
9			論の展開
			自分の考えを述べる
10	「方言コスプレ」現象	4	語彙、表現
			筆者の視点や展開の理解
11	デジタル地図から見える世界	5	語彙、表現
			論の展開（対比）
12	分かち合う社会	4	語彙、表現
			本文と引用文との関連性
1	心に「海」を持って	7	語彙、表現
2	現代日本の開化		複数資料の読解
			要旨の理解
3	人工知能の可能性と畏	3	語彙、表現
			論の展開（具体例）
			本文を踏まえた自分の考えをもつ

令和7年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
文学国語	2年普通科A類型	1	

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 文学国語（数研出版） <input type="checkbox"/> 文学国語 準拠ノート <input type="checkbox"/> 問題集 <input type="checkbox"/> 国語便覧 <input type="checkbox"/> 現代文単語帳
-------------	--

科目の目標		
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
30%	50%	20%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 [知識・技能] ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができている。 ・本文を読み取ることを通して、読書の意義と効用についての理解をおおむね深めることができている。	B 評価の規準 [思考・判断・表現] ・作品の構成と展開を踏まえ、表現がもたらす効果について、おおむね理解することができている。 ・作者の経歴と作品の成立背景を調べ、作者の心情をおおむね理解し、作品の解釈を深めることができている。 ・複数の文章を比較することで、それぞれの表現方法にはどのような違いがあるかをおおむね考察することができている。	B 評価の規準 [主体的に学習に取り組む態度] ・学習課題を踏まえて粘り強く本文設定の考察に取り組んでいる。 ・学習課題を踏まえて話し合いや記述などの言語活動に粘り強く取り組んでいる。 ※ [主体的に学習に取り組む態度] は、課題（提出状況及び取組内容）、言語活動時の自己評価等で評価します。
※ [知識・技能] と [思考・判断・表現] は、定期考査及び単元ごとの小テスト、授業中の課題等で評価します。		
特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4 5	山月記	5	語句・表現 心情の整理 本文の主題の理解
6 7	無用の人	4	語句・表現 心情の整理 本文を踏まえた題名の考察
8 9	山椒魚	4	語句・表現 心情の整理 寓意を踏まえた主題の理解
10	詩歌「表札」「発車」	3	韻文の鑑賞

			語句・表現
11	文学のふるさと	4	語句・表現
12			筆者の主張を読み取る
1	演技する「私」	4	語句・表現
			筆者の主張を読み取る
			文学作品の語りの特徴
2	古典と現代語訳『源氏物語』	4	語句・表現
3			複数文章の比較
			表現の特徴についてまとめる

令和7年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
古典探究	2年普通科A類型理系	2	

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 古典探究（数研出版） <input type="checkbox"/> 古典探究 準拠ノート <input type="checkbox"/> 古典の手引き <input type="checkbox"/> 古典の手引き 定着ノート <input type="checkbox"/> 古文単語315 <input type="checkbox"/> クリアカラー国語便覧 <input type="checkbox"/> 問題集
-------------	---

科目の目標		
<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p>	<p>・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p>	<p>・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	40%	20%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>B 評価の規準 [知識・技能]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解できている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解できている。 	<p>B 評価の規準 [思考・判断・表現]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価できている。 ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えることができている。 ・古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりすることができている。 ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えることができている。 	<p>B 評価の規準 [主体的に学習に取り組む態度]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語句の意味を主体的に調べ、自らの語彙を増やそうとしている。 ・作品や作者について、時代背景も踏まえたうえで、粘り強く考察しようとしている。 ・学習課題について粘り強く取り組もうとしている。 <p>※ [主体的に学習に取り組む態度] は、課題（提出状況及び取組内容）、言語活動時の自己評価等で評価します。</p>
<p>※ [知識・技能] と [思考・判断・表現] は、定期考査及び単元ごとの小テスト、授業中の課題等で評価します。</p>		
<p>特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。</p>		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	説話『十訓抄』「大江山」	4	語句・修辞 和歌の解釈 主題の理解

5	故事「漱石枕流」	3	語句・修辞 発言の論理展開を理解する
6	歌物語『大和物語』「鳥飼の院」	4	語句・修辞
7		和歌の解釈	
8	思想「道德斉礼」「性善」「性悪」 「無用之用」	4	語句・修辞
9		主張の理解 各思想の特徴の理解	
10	物語『源氏物語』「小柴垣のもと」	5	語句・修辞
		登場人物の心情の理解 和歌の解釈	
11	史伝『史記』「鴻門之会」	5	語句・修辞
		登場人物の心情の理解	
12	日記文学『更級日記』 「東路の道の果て」	4	語句・修辞
		登場人物の心情の理解 作品の関連性	
1	随筆『方丈記』「ゆく河の流れ」	4	語句・修辞
		本文の主題の理解	
2	漢詩「鹿柴」「山中対酌」 「旅夜書懐」	3	語句・修辞
		漢詩の解釈	
3	歴史物語『大鏡』 「花山天皇の出家」	4	語句・修辞
		登場人物の心情の理解 作品そのものの意義	

令和7年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
地理総合	普通科2年 総合ビジネス科2年	2	

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 地理総合（東京書籍） <input type="checkbox"/> 地図帳 基本地図帳（二宮書店） <input type="checkbox"/> 資料集 最新地理図表 GEO（第一学習社）
-------------	---

科目の目標		
<p>社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の優位な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
地理に関わる諸事情に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを系統的に理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用い、ICT も活用しながら調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技術を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、協働的な学習をとおして地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事情について、地域に関する学びや体験等を踏まえてよりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深める。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	30%	20%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B評価の規準 [わかった・できた] ・各時間の「問い」や「課題」に対して、ポイントとなる語句を理解し、キーワードとして挙げるができる。 ・各時間の「問い」や「課題」に対する答えを導くために、資料から必要な情報や見方・考え方を読み取ることができる。	B評価の規準 [よく考え、意見を持ち、説明できた] ・各時間の「問い」や「課題」に対して、 ①どんな概念や資料を用いれば良いか、見出すことができる。 ②テーマを把握し、社会の状況や実体験と考え合わせて、課題の本質や解決策について多面的・多角的に考察している。 ③他者の意見との違いを整理しながら、自己の考えをまとめ、表現している。	B評価の規準 [粘り強さ] ・学習活動に真剣に取り組み、仲間と協力して考え、各時間の「問い」や「課題」に対して答えや解決策を導こうとしている。 [自分なりの工夫] ・これまでの学びの振り返りを生かして、ノートを取り方などを工夫している。また、仲間と協働して学び合うことで自己の考えを深めようとしている。さらに、各時間の「問い」や「課題」を自らの問題として捉え、主体的な答えや解決策を導こうとしている。 ※眠っている人、私語が過ぎて周囲に迷惑をかける人はC評価となります。
※「知識・技能」「思考・判断・表現」の評価は、単元テスト及び定期考査でも行います。		
特に顕著な成果・内容の場合はA評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	1-1 私たちが暮らす世界	3	・24時間、地球は眠らない。 ・丸い地球を、平らな紙に正しく描けるだろうか。 ・小さな島が、大きな意味を持つのはなぜ？
5	1-2 地図や地理情報システムの役割	4	・地図を使わない人は、ほとんどいない。 ・地形や土地利用の歴史がひと目でわかる。 ・このテーマ、どんな地図で表すべきか。 ・地図の可能性は、まだまだ広がる。
6	1-3 資料から読み取る現代世界	5	・地球は、どんどん小さくなっている？ ・世界中が、ネットでつながりはしたけれど。 ・仕事に、旅行に。人々は外国をめざす。

			<ul style="list-style-type: none"> ・国どうしの貿易は、どう変化しているのか。 ・国どうしの結び付きで、世界はどこに向かう？
7	2-1-1 生活文化の多様性と国際理解	2	<ul style="list-style-type: none"> ・肉じゃがと言えば？「牛肉だ！」「豚肉だ！」 ・宗教に根ざした、習慣や文化がある。
	2-1-2 生活文化と自然環境①地形	3	<ul style="list-style-type: none"> ・山に住むには、どんな工夫が必要なのか。 ・流れる川が、地形を変えていく。 ・さまざまな海岸と、そこでの暮らしとは。
8 9	2-1-3 生活文化と自然環境②気候	5	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜこれほど違う？暑さ、寒さ、雨の量。 ・強い日差しと激しい雨。人々の暮らしと農業は？ ・雨が少ない！どうやって水を得る？ ・クーラー不要の地域からストーブ不要の地域まで。 ・長い冬を過ごすための食料や、町の工夫とは？
10	2-1-4 生活文化と産業	4	<ul style="list-style-type: none"> ・人の食生活は、気候だけで決まるのだろうか？ ・工場は、どんな理由でどんな場所に建つのか。 ・売り方も、買い方も、社会とともに変化する。 ・ものづくりも働き方もICTが変えていく。
11	2-2-1 地球環境問題	2	<ul style="list-style-type: none"> ・大気と海に、何が起きているのだろうか。 ・森林減少と砂漠化、その原因を探る。
	2-2-2 資源・エネルギー問題	2	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが、欲しがらる。だから、取り合いに。 ・地球を、「電池切れ」にさせないために。
	2-2-3 人口問題	2	<ul style="list-style-type: none"> ・人口が増えたのはなぜ？何が問題なのだろうか。 ・若者が減り、高齢者が増えるとどうなる？
12	2-2-4 食糧問題	1	<ul style="list-style-type: none"> ・増産しても、まだ足りない。なぜだろう。
	2-2-5 居住・都市問題	2	<ul style="list-style-type: none"> ・人は、何を求めて都市に向かうのか。 ・なぜ、再開発が必要なのか。
	2-2-6 民族問題	1	<ul style="list-style-type: none"> ・くり返す対立で、国を追われる人々がいる。
1 2	2-2-7 持続可能な社会の実現をめざして	1	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバルな課題を、解きほぐす糸口とは。
	3-1-1 日本の自然環境の特色	2	<ul style="list-style-type: none"> ・火山や、流れの速い川。日本は動き続けている。 ・四季ある国の、季節ごとの天候は？
	3-1-2 さまざまな自然災害と防災	7	<ul style="list-style-type: none"> ・地震が発生するメカニズムとは。 ・くり返す地震を、災害史から学ぶ。 ・火山をよく知り、共存していくために。 ・雪、猛暑、水不足、台風。どんな被害をもたらす？ ・大雨で、あふれる水。何が起こるのだろうか。 ・都市を襲う災害、危険はどこにある？ ・地域を災害から守るため、いま、できることは？

3	3-2 生活圏の調査と地域の展望	4	<ul style="list-style-type: none">・学校のまわりの、地理的テーマを探せ！・「○○かな？」まずは仮説を立ててスタート。・どこを歩いて誰に聞くか。計画が大切だ。・地域のこれからの、皆で考えていくために。
---	------------------	---	---

令和7年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
歴史総合	普通科2年	2	

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 詳述歴史総合～（実教出版） <input type="checkbox"/> 資料集 ダイアログ歴史総合（第一学習社） <input type="checkbox"/> ノート 詳述歴史総合 マイノート（実教出版）
-------------	--

科目の目標		
<p>社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>近現代史の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中のを広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p>	<p>近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p>	<p>近現代の歴史の変化に関わる諸事情について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	30%	20%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 [わかった・できた] ・【まとめ (Try)】の課題に自ら取り組み、内容も学習内容に沿って答えられている。 ・説明の補足や、資料の読み取りに関する自分の考えを、 <u>適切にメモとして残している</u> 。	B 評価の規準 [よく考え、意見を持ち、説明できた] ・【はじめの問い】や【作業 (Point)】で仲間と協力して取り組み、 <u>自分や班の考えを記述できている</u> 。 ・教師から仲間との確認の指示があった場合は、 <u>仲間のサイン</u> を受けている。	B 評価の規準 [粘り強さ] ・学習活動に真剣に取り組み、仲間と協力して考え、提案や発表ができる。 [自分なりの工夫] ・ノートについて、 <u>教師の説明をメモしたり、自分なりのまとめをしたりする</u> など、独自の記述が3か所以上ある。マーカーやアンダーラインも工夫している。
※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、単元テストや定期考査でも評価します。		※眠っている人、私語が過ぎて周囲に迷惑をかける人はC評価となります。
特に顕著な成果・内容の場合はA評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	1. 近代化への胎動	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパの海外進出と市民社会 ・清の繁栄 ・東アジア諸国間の貿易 ・江戸時代の日本の対外政策
5	2. 欧米の市民革命と国民国家の形成	6	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸時代の社会と生活
<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカ独立革命 ・フランス革命とナポレオン ・ウィーン体制 ・19世紀のイギリスとフランス ・イタリア・ドイツの統一 			
6		5	<ul style="list-style-type: none"> ・東方問題と19世紀のロシア ・アメリカの発展と分裂 ・世界市場の形成

6	3. アジアの変容と日本の近代化		<ul style="list-style-type: none"> ・イスラーム世界の改革と再編 ・南アジア・東南アジアの改革と再編
7		4	<ul style="list-style-type: none"> ・アヘン戦争の衝撃 ・ゆらぐ幕藩体制 ・開国 ・幕末政局と社会変動
8		2	<ul style="list-style-type: none"> ・新政府の成立と諸改革 ・富国強兵と文明開化
9	4. 帝国主義の時代	7	<ul style="list-style-type: none"> ・近代的な国際関係と国境・領土の画定 ・自由民権運動の高まり ・立憲国家の成立 ・帝国主義と世界分割 ・帝国主義期の欧米社会 ・条約改正 ・日清戦争
10		7	<ul style="list-style-type: none"> ・日露戦争から韓国併合へ ・日本の産業革命と社会問題 ・アジア諸民族の独立運動・立憲革命 ・緊迫する国際関係 ・第一世界大戦 ・ロシア革命とシベリア出兵 ・大戦景気と米騒動
11	5. 第一次世界大戦と大衆社会	7	<ul style="list-style-type: none"> ・ヴェルサイユ体制とワシントン体制 ・西アジア・南アジアの民族運動 ・東アジア・東南アジアの民族運動 ・戦間期の欧米 ・ひろがる社会運動と普通選挙の実現 ・政党内閣の時代
12		6	<ul style="list-style-type: none"> ・世界恐慌 ・ファシズムの時代 ・満州事変と軍部の台頭 ・日中戦争 ・第二次世界大戦とアジア太平洋戦争 ・戦争と民衆 ・敗戦
	6. 経済危機と第二次世界大戦		

1		6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国際連合と戦後世界 ・ 戦後と占領の始まり ・ 民主化と日本国憲法 ・ 冷戦の開始 ・ 朝鮮戦争と日本
	7. 冷戦と脱植民地化		<ul style="list-style-type: none"> ・ 冷戦対立の推移
2		6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 植民地の独立と第三世界の出現 ・ 米ソ両陣営の同様 ・ 日本の国際社会復帰と高度経済成長
	8. 多極化する世界		<ul style="list-style-type: none"> ・ 石油危機と世界経済 ・ 緊張緩和から冷戦の終結へ
3		5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域協力の進展 ・ 日本の経済大国化
	9. グローバル化と現代世界		<ul style="list-style-type: none"> ・ 冷戦体制の終結 ・ 地方紛争と世界経済 ・ グローバルな認識へ

令和7年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
数学Ⅱ・数学A 数学B・数学C	普通科A類型・2年	数学Ⅱ：3 数学A：1 数学B：1 数学C：1	

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 新編 数学Ⅱ, 新編 数学A, 新編 数学B 新編 数学C (数研出版) <input type="checkbox"/> 問題集 Study-Up ノート
-------------	--

科目の目標		
<p>○以下の分野について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。</p> <p>数学Ⅱ…<u>複素数と方程式</u>, <u>図形と方程式</u>, <u>三角関数</u>, <u>指数関数と対数関数</u>, <u>微分法と積分法</u> 数学A…<u>図形の性質</u> 数学B…<u>数列</u>, <u>統計的な推測</u> 数学C…<u>ベクトル</u>, <u>平面上の曲線と複素数平面</u></p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
各分野についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	以下の力を養う。 ・図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力 ・座標平面上の図形について構成要素間関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力 ・関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力 ・関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力 ・離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力 ・確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力 ・日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力 ・大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	を考察する力 ・図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力	
--	--	--

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	20%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○観点別目標の達成や取組の状況において</p> <p>「十分満足できる」状況と判断される場合「A」（点数での目安：7割以上）</p> <p>「おおむね満足できる」状況と判断される場合「B」（点数での目安：3割以上7割未満）</p> <p>「努力を要する」状況と判断される場合「C」（点数での目安：3割未満）と評価する。</p>		
<p>○「知識・技能」の評価問題を理解している。</p> <p>（到達度チェックテスト）</p> <p>（授業時の解答状況等）</p> <p>（自己評価）</p>	<p>○「思考力・判断力・表現力」の評価問題を理解している。</p> <p>（到達度チェックテスト）</p> <p>（授業時の解答状況等）</p> <p>（自己評価・相互評価）</p>	<p>○授業に臨む態度等（日々の授業時）</p> <p>○課題（宿題）等の取組・提出状況（プリント・ノート等）</p> <p>○努力度・理解度の自己評価（到達度チェックテスト）</p> <p>※「知識・技能」や「思考・判断・表現」の観点の状況を踏まえたうえで評価する。（例：CCA という評価はほぼありえない。）</p>
<p>○主に単元末または節末ごとに実施する「到達度チェックテスト」にて評価する。</p> <p>なお、定期考査は実施しない予定です。</p>		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	【数学A】 第2章 図形の性質 第1節 平面図形 第2節 空間図形 【数学II】 第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解	11	○到達度チェックテスト ○到達度チェックテスト 1. 複素数とその計算 2. 2次方程式の解 3. 解と係数の関係
5	第2節 高次方程式 【数学II】 第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 第2節 円	21	○到達度チェックテスト 4. 剰余の定理と因数分解 5. 高次方程式 ○到達度チェックテスト 1. 直線上の点 2. 平面上の点 3. 直線の方程式 4. 2直線の関係 ○到達度チェックテスト 5. 円の方程式 6. 円と直線 7. 2つの円 ○到達度チェックテスト
6	第3節 軌跡と領域 【数学II】 第4章 三角関数 第1節 三角関数 第2節 加法定理	25	8. 軌跡と不等式 9. 不等式の表す領域 ○到達度チェックテスト 1. 角の拡張 2. 三角関数 3. 三角関数のグラフ 4. 三角関数の性質 5. 三角関数を含む方程式, 不等式 ○到達度チェックテスト 6. 加法定理 7. 加法定理の応用 ○到達度チェックテスト

7	【数学Ⅱ】 第5章 指数対数と対数関数 第1節 指数関数 第2節 対数関数	13	1. 指数の拡張 2. 指数関数 ○到達度チェックテスト 3. 対数とその性質
8 9	【数学B】 第1章 数列” 第1節 等差数列と等比数列 第2節 いろいろな数列	2 20	4. 対数関数 5. 常用対数 ○到達度チェックテスト 1. 数列と一般項 2. 等差数列 3. 等差数列の和 4. 等比数列 5. 等比数列の和 ○到達度チェックテスト 6. 和の記号 Σ
10	第3節 漸化式と数学的帰納法 【数学C】 第1章 平面上のベクトル” 第1節 ベクトルとその演算	25	7. 階差数列 8. いろいろな数列の和 ○到達度チェックテスト 9. 漸化式 10. 数学的帰納法 ○到達度チェックテスト 1. ベクトル 2. ベクトルの演算 3. ベクトルの成分 4. ベクトルの内積 ○到達度チェックテスト
11	第2節 ベクトルと平面図形 第2章 空間上のベクトル	22	5. 位置ベクトル 6. ベクトルの図形への応用 7. 図形のベクトルによる表示 ○到達度チェックテスト 1. 空間の点 2. 空間のベクトル 3. ベクトルの成分 4. ベクトルの内積
12		16	5. ベクトルの図形への応用 6. 座標空間における図形 ○到達度チェックテスト

1	【数学Ⅱ】 第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数	12	1. 微分係数 2. 導関数とその計算 3. 接線の方程式 ○到達度チェックテスト
2	第2節 関数の値の変化	14	4. 関数の増減と極大・極小 5. 関数の増減・グラフの応用 ○到達度チェックテスト
3	第3節 積分法	10	6. 不定積分 7. 定積分 8. 定積分と面積 ○到達度チェックテスト

令和7年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
物理	普通科2年	3	

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 物理（数研出版） <input type="checkbox"/> 物理研究ノート（博洋社）
------	--

科目の目標		
<p>物理的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察，実験などを行い，物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに，物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め，科学的な自然観を育成する。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>物理的の基本的な概念や原理・法則の理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する技能を身に付けるようにする。</p>	<p>観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。</p>	<p>物理的な事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度を養う。</p>

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	30%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 [わかった・できた] ・教師の説明をメモしたり、自分なりのまとめをしたりするなど、適切にメモに残している。 ・学習活動に真剣に取り組む、確認テスト等で振り返ることができている。	B 評価の規準 [よく考え、意見を持ち、説明できた] ・学習や観察及び実験に仲間と協力して取り組み、自らの考えを記述している。 ・学習内容や観察及び実験の方法を正しく理解し、結果をまとめることができる。	B 評価の規準 [粘り強さ] ・学習課題に自ら取り組み、仲間と協力して考え、結果をまとめることができる。教師のスタンプがある。 [自分なりの工夫] ・教師の説明をメモしたり、自分なりのまとめをしたりするなど、独自の記述が3か所以上ある。マーカーやアンダーラインも工夫している。 ※眠っている人、私語が過ぎて周囲に迷惑をかける人はC評価となります。
※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、定期考査で主に判断します。		
特に顕著な成果・内容の場合はA評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	第1章 平面内の運動	2 3	①平面運動の速度・加速度 ②物体の運動
5	第2章 剛体	2 4	①剛体にはたらく力のつりあい ②剛体にはたらく力の合力と重心
6	第3章 運動量の保存	2 3 4	①運動量と力積 ②運動量保存則 ③反発係数
7	第4章 円運動と万有引力	3 3 5	①等速円運動 ②慣性力 ③単振動
9	第1章 気体のエネルギーと状態変化	4 2 3	④万有引力 ①気体の法則 ②気体分子の運動
10	第1章 波	5 2 2	③気体の状態変化 ①波と媒質の運動 ②正弦波の式

11	第2章	4	3 波の伝わり方
		2	1 音の伝わり方
		3	2 音のドップラー効果
12	第3章	3	1 光の性質
		4	2 レンズと鏡
1	第1章 電場	4	3 光の干渉と回折
		2	1 静電気力
		2	2 電場
2		4	3 電位
		1	4 物質と電場
3		6	5 コンデンサー

令和7年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
化学基礎	普通科・2年生 (A類型)	3	

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 化学基礎 (数研出版) <input type="checkbox"/> フォローアップドリル化学基礎 (物質の構成と化学結合) (数研出版) <input type="checkbox"/> フォローアップドリル化学基礎 (物質の質量・化学反応式) (数研出版) <input type="checkbox"/> フォローアップドリル化学基礎 (酸・塩基/酸化・還元/電池・電気分解) (数研出版)
-------------	--

科目の目標		
日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、科学的に探究するために必要な資質・能力を育成すること。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化についての観察、実験などを行うことを通して、物質とその変化に関する基本的な概念や原理・法則の理解を図るとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けさせる	物質とその変化を対象に、探究の過程を通して、情報の収集、仮説の設定、実験の計画、実験による検証、実験データの分析・解釈などの探究の方法を習得させるとともに、報告書を作成させたり発表させたりして、科学的に探究する力を育てる。	物質とその変化に対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など、科学的に探究しようとする態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	30%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 [わかった・できた] ・【まとめと練習】の課題に自ら取り組み、内容も学習内容に沿っている。 ・授業プリントなど説明の補足や、資料の読み取りに関する自分の考えを、 <u>適切にメモに残している</u> 。	B 評価の規準 [よく考え、意見を持ち、説明できた] ・【探究の問い】や【作業】で仲間と協力して取り組み、 <u>自分や班の考えを記述できている</u> 。 ・教師から仲間との確認の指示があった場合は、 <u>仲間のサイン</u> を受けている。	B 評価の規準 [観察・実験] 様々な探究の過程を通して科学の方法を学び、化学的に探究する能力と態度を育てようとするものであり、化学に対する興味や関心も、しっかりとした目的意識をもって行う観察、実験によって一層高めることができる。 [自分なりの工夫] ・授業プリントに教師の説明をメモしたり、自分なりのまとめをしたりする。 ※眠っている人、私語が過ぎて周囲に迷惑をかける人はC評価となります。
※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、定期考査で主に判断します。		
特に顕著な成果・内容の場合はA評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	1章 物質の構成	1	物質の分類と性質
		4	物質と元素
5	1章 物質の構成	4	物質と元素
		2	物質の三態と熱運動
6	1章 物質の構成	4	原子の構造
		3	イオンの生成
		2	元素の周期表
7	2章 物質と化学結合	4	イオン結合とイオン結晶
		4	イオン結合からなる物質
8			
9	2章 物質と化学結合	4	共有結合と分子
		4	分子間力と分子結晶
10	2章 物質と化学結合	4	共有結合からなる物質

		4	金属結合と金属結晶
		4	金属
11	3章 物質の変化	4	原子量と分子量・式量
		4	物質質量
		5	溶液の濃度
		4	化学反応式
12	3章 物質の変化	5	酸と塩基
		5	酸と塩基の分類
		5	水素イオン濃度とpH
1	3章 物質の変化	5	中和と塩
		5	酸化と還元
2	3章 物質の変化	7	酸化剤と還元剤
3	3章 物質の変化	8	科学技術と化学

令和7年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
生物	普通科2年（A類型・生物選択者）	3	

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 高等学校生物（啓林館） <input type="checkbox"/> 問題集 センサー総合生物 生物基礎・生物（啓林館） <input type="checkbox"/> 資料集 改訂版 フォトサイエンス 生物図録（数研出版）
-------------	--

科目の目標		
生物や生物現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日常生活や社会との関連を計りながら、生物や生物現象についての観察、実験などを行うことを通して、生物や生物現象に関する概念や原理・法則の理解を図るとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。	生物や生物現象を対象に、探究の過程を通して、問題を見いだすための観察、情報の収集、仮説の設定、実験の計画、実験による検証、調査、データの分析・解釈、推論などの探究の方法を習得するとともに、報告書を作成させたり発表させたりして、科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など、科学的に探究しようとする態度を養うことが重要である。その際、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
40%	30%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 [わかった・できた] ・学習活動に真剣に取り組む、確認テスト等で振り返ることができている。 ・観察及び実験の方法を正しく理解し、結果をまとめることができる。	B 評価の規準 [よく考え、意見を持ち、説明できた] ・学習内容に対し、仮説を立て、既習事項や実験結果等と関連付けて考察することができる。 ・専門用語を的確に使用し、順序良く端的に説明することができる。	B 評価の規準 [粘り強さ] ・学習課題に自ら取り組み、内容も学習内容に沿っている。 [自分なりの工夫] ・授業プリントに補足をメモしたり、自分なりのまとめをしたりするなど、独自の工夫及び記述がある。 ※眠っている人、私語が過ぎて周囲に迷惑をかける人はC評価となります。
※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、定期考査で主に判断します。		
特に顕著な成果・内容の場合はA評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	生物の進化 有性生殖と遺伝的多様性	2 2 3	生命の起源と生命の変遷 生物界の変遷と地球環境の変化 有性生殖
5	進化のしくみ	4 3 4	遺伝子の多様な組み合わせ 突然変異と進化 進化の要因
6	生物の系統 生命現象と物質	2 4 1 5	生物の分類と系統 3ドメイン説 人類の起源と進化 物質と細胞
7		8	生命現象とタンパク質
8	代謝	1	代謝とエネルギー
9	遺伝現象と物質	4 4 2	呼吸 光合成 遺伝情報の複製
10		3	遺伝子の発現

	発生と遺伝子の発現	4 2 6	遺伝子の発現調節 動物の配偶子形成と受精 初期発生の過程
11	バイオテクノロジー	5 6	発生と遺伝子の発現 遺伝子を扱った技術
12	刺激の受容と反応	3 3	刺激の受容 神経
1	動物の行動	2 3 2 2	神経系 効果器 生得的行動 学習
2	植物の環境応答	4 8	植物の生殖と発生 発芽と成長
3	個体群と生物群集	3	個体群とその変動

令和7年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
体育	2年普通科・総合ビ ジネス科	2	

使用教材	<input type="checkbox"/> 現代高等保健体育大修館書店（教科書） <input type="checkbox"/> 現代高等保健体育大修館書店（ノート）
------	--

科目の目標		
<p>体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成することを目指す。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。</p>	<p>運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な課題解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。</p>	<p>生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	20%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>B 評価の規準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動を通して技術の名称や実践、ルールやマナーを理解しようとしている。 ・課題解決法、練習法、試合法を理解しようとしている。 	<p>B 評価の規準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートに毎時の反省を記入し、自己評価をしようとしている。 ・互いに助け合い、教えあい、高め合おうとしている。 ・役割を積極的に引き受け事故の責任を果たそうとしている。 	<p>B 評価の規準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備運動の声出し、活動時の周囲への声掛け、準備・片付けを積極的に行おうとしている。 ・活動の目的を理解し、実践しようとしている。 ・他者と協力して周囲に配慮をしようとしている。 ・健康・安全を確保しようとしている。 ・授業に積極的に参加しようとしている。
<p>※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、スキルテスト、体育理論で主に判断します。</p>		
<p>特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。</p>		

学習計画

月	単元	時数	学習項目
4	ダンス 体づくり運動	10	現代的なリズムのダンス 体ほぐし運動 体の動きを高める運動 実生活に生かす運動の計画
5	球技（選択①）	8	○ゴール型 □バスケットボール ○ネット型 □バドミントン □バレーボール ○ベースボール型 □ソフトボール
6 7	球技（選択①）	12	○ゴール型 □バスケットボール ○ネット型 □バドミントン □バレーボール ○ベースボール型 □ソフトボール
	体育理論	2	スポーツの始まりと変遷 文化としてのスポーツ オリンピックとパラリンピックの意義 スポーツが経済に及ぼす効果 スポーツの高潔さとドーピング スポーツと環境

8	球技（選択②）	2	<input type="radio"/> ゴール型 <input type="checkbox"/> バスケットボール <input type="radio"/> ネット型 <input type="checkbox"/> バドミントン <input type="checkbox"/> バレーボール <input type="radio"/> ベースボール型 <input type="checkbox"/> ソフトボール
9	球技（選択2）	8	<input type="radio"/> ゴール型 <input type="checkbox"/> バスケットボール <input type="radio"/> ネット型 <input type="checkbox"/> バドミントン <input type="checkbox"/> バレーボール <input type="radio"/> ベースボール型 <input type="checkbox"/> ソフトボール
10	球技（選択③）	8	<input type="radio"/> ゴール型 <input type="checkbox"/> バスケットボール <input type="radio"/> ネット型 <input type="checkbox"/> バドミントン <input type="checkbox"/> バレーボール <input type="radio"/> ベースボール型 <input type="checkbox"/> ソフトボール
11	陸上競技（長距離走）	8	20分間走・ロード走
12	陸上競技		20分間走・ロード走
1	ダンス 球技	6	現代的なリズムのダンス <input type="radio"/> ゴール型 <input type="radio"/> ネット型 <input type="radio"/> ベースボール型
2	ダンス 球技	6	現代的なリズムのダンス <input type="radio"/> ゴール型 <input type="radio"/> ネット型 <input type="radio"/> ベースボール型
3	ダンス 球技	4	現代的なリズムのダンス <input type="radio"/> ゴール型 <input type="radio"/> ネット型 <input type="radio"/> ベースボール型

令和7年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
保健	2年普通科・総合ビ ジネス科	1	

使用教材	<input type="checkbox"/> 現代高等保健体育大修館書店（教科書） <input type="checkbox"/> 現代高等保健体育大修館書店（ノート）
------	--

科目の目標		
<p>保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成する。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。</p>	<p>健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。</p>	<p>生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	20%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 ・ 単元テストの内容を理解しようとしている。	B 評価の規準 ・ 単元の内容を理解し、文章表現しようとしている。 ・ グループワークでの話し合いにより、単元の学びを深めようとしている。 ・ 発表の内容を分かりやすく説明したりスライドにまとめたりしようとしている。	B 評価の規準 ・ 互いに協力して教え合おうとしている。 ・ 役割を積極的に引き受け、自己の責任を果たそうとしている。 ・ 授業に積極的に参加しようとしている。 ・ 発表後に質問をおこない、興味関心を持つようにしている。
※単元テスト、グループ発表の内容、スライドの作成		
特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	ライフステージと健康	1	座学、単元テスト
5	思春期と健康	1	座学、単元テスト
6	性意識と性行動の選択	6	調べ学習（グループワーク）
7	妊娠・出産と健康		
	避妊法と人工妊娠中絶		
	結婚生活と健康 中高年期と健康		
		1	クラス別発表（グループ）
8	働くことと健康	2	座学、単元テスト
9	労働災害と健康		
10	健康的な職業生活		
11	大気汚染と健康	3	調べ学習（グループワーク）
12	水質汚濁、土壌汚染と健康		
	環境と健康にかかわる対策 ごみの処理と上下水道の整備		
		1	クラス別発表（グループ）

1	さまざまな保健活動や社会的対策	1	座学、単元テスト
2	健康に関する環境づくりと社会参加	1	座学、単元テスト
3	<ul style="list-style-type: none"> 【 食品の安全性 【 食品衛生にかかわる活動 【 保健サービスとその活用 【 医療サービスとその活用 【 医薬品の制度とその活用 	5	調べ学習（グループワーク）
		1	クラス別発表・学年発表（グループ）

令和7年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
英語 コミュニケーションⅡ	普通科・2年	4	

使用教材	<input type="checkbox"/> Power On English Communication Ⅱ <input type="checkbox"/> Power On English Communication Ⅱ スタディノート <input type="checkbox"/> 英単語・熟語 Bricks I (いいずな書店)
------	---

科目の目標		
英語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、5つの領域(聞くこと・読むこと・話すこと【やりとり】【発表】・書くこと)において言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
各レッスンにおける文法事項、文の形・意味・用法を理解できるようになる。基本的な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝える技能を身につける。学習した用法を話し言葉において、適切な場面・状況で使う技能を身につける。	各レッスンの内容について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、学習内容について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えることができる。	各レッスンの内容について、必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、学習内容について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりしようとする。 各課題について、自分のためになるように効果的に取り組む。

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	20%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>B 評価の規準</p> <p>[知識] 各レッスンにおける文法事項の文の形、意味、用法を理解している。</p> <p>[技能] 必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えたり、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝える技能を身につけている。</p>	<p>B 評価の規準</p> <p>[思考・判断・表現] 必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えている。</p>	<p>B 評価の規準</p> <p>必要な情報、話し手・書き手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく話したり書いたりして伝えようとしている。</p> <p>課題については、自力で取り組み、丸つけややり直しなどを主体的に行う。また、期日を守って提出する。</p>
<p>※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、定期考査で主に判断します。</p>		
<p>特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。</p>		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	Lesson 1 Play Me, I' m Yours	6	助動詞、受け身、S+V+C
	Sounds Interesting 1	1	目立たない音節
5	Lesson 2 Ethical Fashion	6	S+V+O+C
	Zoon in with コーパス 1	1	インターネットはコーパス
6	Lesson 3 One for All, All for One	5	完了形、仮定法過去
	Sounds Interesting 2	1	目立つ音節
7	Leeson 4 Vending Machines	4	関係代名詞（主格、非制限用法）
8	Lesson 4 Vending Machines	2	関係代名詞（目的格）
9	Lesson 5 Design for Connecting Society: Braille Neue	6	助動詞+受け身、S+V+C、S+V+O、 It seems that ～
	Essay Writing 1	1	エッセイの構成要素
	Zoom in with コーパス 2	1	副詞

10	Lesson 6 New Banknotes	6	It is said that ～、形式目的語、 助動詞 + have + p. p.
	Sounds Interesting 3	1	音のつながり
11	Lesson 7 Some Secrets about Colors	6	関係代名詞 (所有格)、同格の that、 前置詞+関係代名詞、関係副詞
	Zoom in with コーパス 3	1	パターンに注目
12	Lesson 8 Powdered Natto Solves a Global Water Problem	6	強調、関係代名詞(, which)、to have p. p.
	Sounds Interesting 4	1	リズム
1	Lesson 9 Flying after Her Dreams	3	譲歩、no matter how(where, when)
2	Lesson 9 Flying after Her Dreams	3	仮定法過去完了、分詞構文
	Sounds Interesting 5	1	イントネーション
	Lesson 10 To Work or Not to Work?: Humans and Robots	4	過去完了進行形、be + to-do
3	Lesson 10 To Work or Not to Work?: Humans and Robots	2	未来完了形、提案・命令・要求
	Sounds Interesting 6	1	弱形と強形

令和7年度 熊本県阿蘇中央高等学校 年間学習指導及び評価計画

科目	学科・学年	単位数	授業担当者
論理・表現Ⅱ	普通科・2学年	2	

使用教材	<input type="checkbox"/> 教科書 EARTHRISE English Logic and Expression II Standard (数研出版) <input type="checkbox"/> EARTHRISE English Logic and Expression II ワークブック(数研出版) <input type="checkbox"/> EARTHRISE アースライズ総合英語(数研出版) <input type="checkbox"/> 英単語・熟語 Bricks I (いっずな書店)
------	---

科目の目標		
<p>「話すこと(やり取り)」「話すこと(発表)」「書くこと」を中心とした統合的な言語活動を通して、コミュニケーションを図るために必要な発信能力を育成するとともに、論理の構成や展開を考察することで、情報や考えなどを論理的に工夫しながら伝える能力を養う。</p>		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)のうち「話すこと」「書くこと」について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けられるようにする。</p> <p>○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解する力を養う。</p>	<p>○場面、目的、状況等に応じて、日常的话题から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりする力を養う。</p> <p>○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現することができるようにする。</p>	<p>○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現することができるようにする。</p> <p>○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする力を養う。</p>

評価の割合		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
50%	20%	30%

評価基準（毎日の学習場面での具体的な規準）		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B 評価の規準 「外国語理解の能力」 ・外国語を聞いたり読んだりして、話し手や書き手の意向などを理解している。 ・外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。	B 評価の規準 「外国語理解の能力」 ・外国語を聞いたり読んだりして、話し手や書き手の意向などを理解している。 ・外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。	B 評価の規準 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 ・コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。
※「知識・技能」「思考・判断・表現」は、定期考査で主に判断します。		
特に顕著な成果・内容の場合は A 評価とします。		

学習計画			
月	単元	時数	学習項目
4	Lesson 1 How interesting Japanese Culture is!	3	さまざまな時を表す
	Lesson 2 Wonderful places to visit in Japan	2	可能・義務・必要などを表す
5	Lesson 2 Wonderful places to visit in Japan	1	可能・義務・必要などを表す
	Lesson 3 Precious water for all	3	「～される」を表す
6	Lesson 4 What has happened recently?	3	「～すること」などを表す (to do / doing)
	Lesson 5 I'm into music and movies!	1	doing / done を使って説明する
7	Lesson 5 I'm into music and movies!	2	doing / done を使って説明する
	Lesson 6 Where do you usually	3	人・物・時や場所などについて説明する

	buy clothes?		
8	Lesson 7 What kind of books do you like best?	2	比較を表す
9	Lesson 7 What kind of books do you like best?	1	比較を表す
	Lesson 8 Inventions that changed the way we live	3	仮定を表す
10	Lesson 1 Can you come to our party?	3	感謝する／謝罪する
11	Lesson 2 I'm sure you can make it!	3	心配を述べる／励ます／感想を述べる
12	Lesson 3 How about trying this food?	3	提案する／勧誘する／好みを述べる
1	Lesson 4 Tips for staying healthy	3	助言する／忠告する
	Lesson 5 I'm taking part in some volunteer activities tomorrow	2	依頼する
2	Lesson 6 Where would you like to live in the future?	3	賛成する／反対する
3	Lesson 7 Which candidate is the right person?	3	意見を求める／意見を述べる